

青山台留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和４年度）

Ⅰ 育成室の概要

（１）児童数・教室数（令和５年３月１日時点）

児童数 51 人（うち配慮を要する児童 3 人）						教室数
内訳	1 年	2 年	3 年	4 年	5・6 年	2 教室
	17 人	17 人	12 人	5 人	0 人	

（２）受託事業者

社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

（契約期間：平成 31 年 4 月～令和 6 年 3 月）

Ⅱ 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

Ⅲ 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に貢献している。
- ②保護者アンケートの「育成室での友達関係は、良好である。」の設問では、全ての回答が「そう思う・少しそう思う」となっている。
- ③育成室の宿題やその他の学習活動に取り組む環境について、保護者アンケートを見ると、「満足・少し満足」の回答を合わせると 80%であり、昨年度から 30 ポイント増加した。自主性に任せることを基本としながら、保護者からの要望がある場合には、声かけや見守り、とりかかることが難しい児童に対しては、横について見守るなど昨年度からの改善が見られる。
- ④令和 4 年度から運営する教室数が 1 教室増加し、2 教室での運営となり、各クラス担任の個性を生かしつつ不公平のないように情報共有に努めているが、児童本人や保護者から訴えがあり初めて気づくという事案もあったことから、職員の体制や配置、クラス間での職員の連携などにおいて更なる工夫が求められる。